



守破離

第2号

2005年6月10日

発行 碧南市剣道連盟

私と碧南剣連

副会長 原田 勝美

この度、理事長を退任するにあたり、私の経歴と碧南剣連26年の歴史を振り返ってみたいと思います。

私が剣道を始めたのは、中学3年生頃でした。部室にあった防具を着けて遊んでいたところ、剣道経験のある先生に「剣道やるか」と誘われたのがキッカケです。また、当時はシナイ競技の服装もあったのを覚えています。

高校時代は、安城農林高校で強い先輩達がいて、練習がつらく、1年生の時はあまり練習はしませんでした。2年生になり、何だか知らないうちに好きになり、弁当を2食分持っちは、朝・昼・夕とみんなで面白い程、練習をしていました。練習の成果か、卒業時には2段を取り、県大会にも出場しました。

昭和38年4月、安城の森永製菓に入社、その年の6月に西三河剣道大会に森永チームとして出場、優勝してしまいました。その時に飲んだ生ビールの味は今でも忘れません。また、愛知県青年大会にも警察の人とチームを組み、安城市の代表として出場。そこでも優勝して、県代表に選ばれ、東京での全国青年大会にも行きました。

その後も、剣道続ける道筋を先輩、先生方に作っていただき、剣道教室の指導員、高等学校の非常勤講師、西三河剣道連盟の事務局員等をさせていただきました。また、西三河代表として、五団体、東西大会に参加しました。

昭和54年頃、”碧南市に剣道連盟発足を”の気運が高まりました。そして、碧南高校の榎本勲先生、村瀬宣治さんと私が中心となり、碧南市体育協会、西三河剣連への入会手続き等々を行い、昭和55年3月9日有志により碧南剣友会を発足、活動開始。昭和55年9月28日、第1回碧南市剣道選手権大会を開催。続いて昭和56年4月、碧南市剣道連盟が正式に誕生しました。

以下、その時の役員です。

会長	西尾 秀孝	常任理事	村瀬 宣治
副会長	生田 徳重	〃	松崎 光夫
理事長	原田 勝美	〃	杉浦 治
書記	山本 昭憲	〃	鈴木 隆之
会計	榎本 勲	〃	石田 宇良
監事	加藤 忠和	〃	小栗あけみ
		〃	斉藤 美幸

昭和56年8月2日、第2回碧南市剣道選手権、昭和57年より年2回の市民選手権大会を開催する運びとなり、来る平成18年3月が記念すべき50回目の大会であります。

連盟の練習場所は当初、東中学校で、いわゆる”ママさん剣道”も当時13名もいて、子供達の送迎と一緒に練習に励んでいました。

また、昭和60年頃、臨海体育館が竣工し、火・金曜日19:00～21:00の練習が練習が続けられています。なお、その翌年、第1回の西三河少年剣道大会が体育館で盛大に開催されました。

さらに、昭和59年、他地区より練習会場が遠いという理由で、西端剣道クラブが西端中学校体育館にて練習を開始。それに続いて、昭和63年4月、鷲塚剣道クラブとして東中学校での練習が再開され、碧南市の3地区で各々練習が始まりました。

事務局長も、榎本勲先生、尾崎健次先生、佐潟民男先生、石井有先生と変わり、現在に至っています。

花しょうぶ剣道大会は、近隣の市に色々お世話になっているという事で、平成7年5月28日第1回目の大会を西端コミュニティーセンターにて開催し、今年で11回目となりました。

このような経緯で現在まで続けてこられましたのは、各地区における指導員、剣連の役員、父母の会の方々の多大な御協力の賜物と深く感謝しております。これからも好きな剣道をこよなく愛して、少しでも皆様のお役に立てます様に精進してまいります。